

平成 29 年度 一橋大学大学院第一種奨学金返還免除申請要領 【専門職学位課程】

大学院において(独)日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた学生が当該課程において特に優れた業績を挙げたと認められた場合に奨学金の全部または一部の返還が免除される、「特に優れた業績による返還免除」制度があります。

本学においては、別紙「一橋大学大学院第一種奨学金返還免除者推薦基準」の業績種別及び評価項目により選考を行い、評価点の高い者から返還免除候補者として推薦します。

【対象者】

大学院第一種奨学金奨学生に採用され、本年度中に貸与が終了する者(途中辞退等含む※)で、当該課程において優れた業績を挙げた者。

※平成 30 年 3 月までに辞退・退学・短縮修了等の異動で貸与終了する奨学生は今年度の対象者となります。異動予定で返還免除申請を希望する者は、速やかに異動の手続きを済ませ、下記期間内に申請をしてください。

【推薦枠】

平成 29 年度入学(進学)者より制度変更があったため、それぞれに推薦枠が設けられています。本年度は平成 28 年度以前入学(進学)者 9 名程度、平成 29 年度入学(進学)者 1 名程度の予定です。

※返還免除候補者として推薦された者が必ず返還を免除されるわけではありません。

【申請方法】

「一橋大学大学院第一種奨学金業績優秀者返還免除学内選考調書」及び必要添付資料を学生支援課窓口まで提出してください。

＜調書記入要領＞

- 1 【大学院における研究課題等】及び【上記業績等についての要旨】については、当該課程の目的を達成しうる重要な目的など、特に力を入れて取り組んでいるものを記入してください。(例えば、実践的な教育にあたっては事例研究、現地調査など)
- 2 【指導教員等の推薦理由】については、申請者の研究・業績について最も把握している教員に推薦を得て、署名、捺印をしてもらってください。なお、法科大学院学生は記入してもらう必要はありません。(ただし、推薦が決定した場合には教員の推薦を得る必要があります。)
- 3 特に優れた業績は、推薦基準を参照のうえ該当項目欄に明記し、それらの要旨を記載してください。(業績は専門職学位課程在学中のものに限られます。)
- 4 論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入し、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載してください。(学位論文がある場合には、本文と要旨を併せて提出してください。製本の必要はありません。)

【申請期間】

平成 30 年 1 月 15 日(月)～1 月 26 日(金)17:15

【選考結果】

学内選考の結果、返還免除候補者として推薦が決まった者にのみ、個別に連絡をします(3 月末予定)。推薦された者にはあらためて申請書を作成していただくことになります。(この際に先に提出した学内選考調書を参考に見たいという方が多くいますが、窓口に来ていただいても対応できないこともありますので、学内選考調書は提出前に必ずコピーして保管しておいてください。)

大学からの推薦後、日本学生支援機構での審査を経て免除者が決定されます。決定時期は平成 30 年 6 月中旬予定で、結果は日本学生支援機構より直接申請者本人に通知されます。

【問い合わせ先】

学生支援課 Tel:042-580-8139 E-mail:stu-kz.g@dm.hit-u.ac.jp

一橋大学大学院第一種奨学金返還免除者推薦基準

(専門職学位課程)

業績種別及び評価項目	評価点
(1) 学位論文その他の研究論文	
① 大学院における教育研究活動等に関する業績 イ 学位論文が特に優れ推薦に値する場合	
② 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績 イ 学位論文及び研究論文が学会で高い評価を得て推薦に値する場合 ロ 学位論文及び研究論文が学術雑誌及び新聞等で高い評価を得て推薦に値する場合 ハ 学位論文及び研究論文を学会で発表し高い評価を得て推薦に値する場合	
(2) 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	
① 大学院における教育研究活動等に関する業績 イ 研究成果が特に優れ推薦に値する場合	
② 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績 イ 研究成果が学会で高い評価を得て推薦に値する場合 ロ 研究成果が学術雑誌及び新聞等で高い評価を得て推薦に値する場合 ハ 研究成果を学会で発表し高い評価を得て推薦に値する場合	
(3) 授業科目の成績	200
① 大学院における教育研究活動等に関する業績 イ 特に優秀な成績を修め推薦に値する場合	10
(4) 著書、データベースその他の著作物[(1)(2)に掲げるものを除く]	
① 大学院における教育研究活動等に関する業績 イ 著書及び著作物が特に優れ推薦に値する場合	
② 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績 イ 著書及び著作物が学会、学術雑誌及び新聞等で高い評価を得て推薦に値する場合	10
(5) 研究または教育に係る補助業務の実績	
① 大学院における教育研究活動等に関する業績 イ 学内での教育研究活動等に補助(リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等)に大きく貢献し、かつ特に優れた業績を挙げ推薦に値する場合	10
② 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績 イ 教育研究活動の補助業務により学外での研究成果が高く評価を得て推薦に値する場合	

「推薦基準(3)授業科目の成績」の評価点の算出方法について

次の式により GPA を算出し評価点を求めます。(小数点以下は切り捨て)

【法科大学院】(200 点)

$$\text{GPA} = \frac{4 \times \text{A 取得単位数} + 3 \times \text{B 取得単位数} + 2 \times \text{C 取得単位数} + 1 \times \text{D 取得単位数} + 0 \times \text{F 取得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (演習及び単位不取得除く)}} \div 4 \times 200$$

【国際・公共政策大学院】(200 点)

(以下の式においては、平成 28 年度までに取得した成績(A・B・C・D・F)を a・b・c・d・f、平成 29 年度に取得した成績を A'・A'・B'・C'・F とする)

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times a \text{ 取得単位数} + 3 \times b \text{ 取得単位数} + 2 \times c \text{ 取得単位数} + 1 \times d \text{ 取得単位数} + 0 \times f \text{ 取得単位数}) \div 4 + (4.3 \times A' \text{ 取得単位数} + 4 \times A \text{ 取得単位数} + 3 \times B \text{ 取得単位数} + 2 \times C \text{ 取得単位数} + 0 \times F \text{ 取得単位数}) \div 4.3}{\text{総履修登録単位数 (演習及び単位不取得除く)}} \times 200$$

※調書には現時点での成績をもとに評価点を求めて記入し、成績証明書を添付してください。

学内選考調書作成及び業績添付について

1. 特に優れた業績は推薦基準を参照の上、学内選考調書の該当項目欄に明記し、次ページにそれらの要旨を記載し、それらを証明する資料を添付してください。
2. 論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入し、発表、学会誌等はその名称、巻、号等を記載してください。(学位論文は、本文と要旨を併せて提出してください。製本の必要はありません。)
3. 研究又は教育に係る補助業務の実績がある場合は、採用又は雇用に関する証明書、若しくは補助業務委嘱の第三者の証明を添付してください。(本学 TA・RA の場合は、本学発行の労働条件通知書のコピー)
4. 修士課程及び専門職学位課程については、上記の式を参照し、算出した評価点を学内選考調書の(3)に記載してください。また、成績証明書も併せて提出してください。

※業績を証明する資料は、推薦基準の番号を付した表紙を添付するか資料に直接番号を付した上で、番号順に並べてください。ひとつの項目に、複数の業績がある場合は枝番を付してください。

※提出物は、審査員が審査しやすいように作成、取りまとめた上で提出してください。